

## サポート会員の活動

サポート会員は子育ての先輩でもあり、利用者の頼もしいパートナーです。

### 事例：保育所迎え・一時預かりのケース

○前日、母親に急きょ仕事が入り、土曜日の午後両親ともに保育所に子どもを迎えに行けないため、サポートの要請が入る。

#### 〈援助を行うまでの主な流れ〉

- ①コーディネーターが、顔合わせをしているサポート会員に連絡をする。
- ②サポート会員が了解すると、依頼者に連絡する。
- ③保育所にも援助活動を行うことをコーディネーターから連絡を入れる。
- ④サポート会員より、依頼者の都合のよい時間に土曜日の細かな連絡を行う。



#### 〈当日のサポート会員の活動と子どもの様子〉

- 12:30 保育所に迎えに行く。  
12:45 福祉センターのあそびステーションに寄って遊具で遊ぶ。  
13:45 文化センターの図書室に行き、絵本を見て、その後、紙芝居を借りて帰る。  
14:15 近くの駄菓子屋でおやつを買う。  
14:40 サポート会員宅に帰る。  
15:00 おやつを食べる。  
15:20 一緒に遊ぶ。  
16:20 母親が迎えにくる。  
○報告書を書き、内容を確認してもらってから報酬の受け渡しを行う。  
※報告書の一例です。



利用状況に応じて、サポート会員からこのように過ごさせたいという提案も行います。

子どもの状態に合わせてお昼寝をする場合もあります。

依頼者の要望を全面的に受け入れる形でサポートができるように打ち合わせをします。



あらかじめ迎えの時間を聞いているので、それに合わせて散歩に出かけることもあります。



毎月1回、サポート会員が集まり、利用会員及びその子どもへの理解やサポートの仕方についての情報交換、学習会を行っています。また、年1回程度、利用会員との親睦と相互援助活動の理解を深めていただくための交流会を開催しています。

問い合わせ 松前町いきいきサポートセンター  
「m<sup>♯</sup>a★m<sup>♯</sup>a・ほっと」 ☎960-3269